

IWATE

いわて

たか
し
な
ま
い
や

JAZZ 2011

出演
ボブ・ジェームス
and
松居慶子
(JAZZ FOR JAPAN Project)
+
寺井尚子カルテット
+
いわてJAZZ 2011
スペシャルバンド



Bob James



Keiko Matsui



Naoko Terai

2011.9.17.SAT

世代や国境の壁を越えた"音"の共演!!

開場 17:00
開演 17:30

前売料金 (当日500円増)

S席 6,000円 **A席** 5,000円

B席 4,000円 (3F自由) ※コンサロ会員は各席20%割引 (県民会館のみ取扱い)
※高校生以下は各席半額割引料金となります (県民会館のみ取扱い)

●チケット取扱 プレイガイド

[盛岡] 県民会館、アネックスカワトク、カワトク、ジョイス盛岡東安庭店、フェザン、プラザおでっ、盛岡市民文化ホール
[花巻] なはんプラザ [奥州] Zホール、ジョイス龍ヶ馬場店 [北上] 江釣子ジョッピングセンター・バル、さくらホール
[遠野] とびあ [大船渡] サン・リア [二戸] ニコア [久慈] ジョイス久慈長内店 [いわて生協] 県内各店

主催 / 岩手県文化振興事業団

協賛 / 白石食品工業、ホテルメトロポリタン盛岡、みちのくコカ・コーラボトリング、みちのくキャンティーン
後援 / 岩手県、岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、岩手県芸術文化協会、岩手日報社
東海新報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局
エフエム岩手、盛岡タイムス、ラヂオもりおか

●制作協力 / NHKエンタープライズ

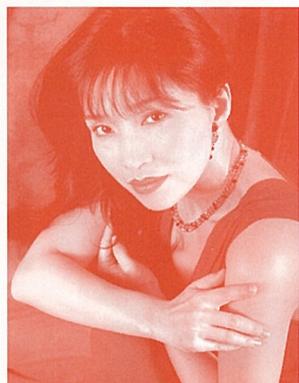


お問い合わせ

岩手県民会館 TEL.019-624-1173

IWATE JAZZ 2011

出演者プロフィール



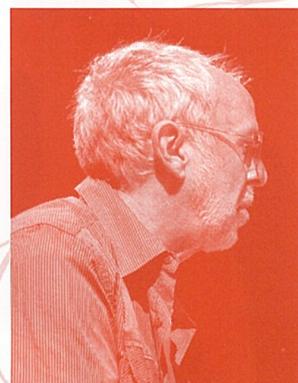
松居慶子

JAZZ FOR JAPAN Project

JAZZ
FOR
JAPAN

震災後、ロサンゼルス音楽プロデューサー、ラリー・ロビンソンの呼びかけでアメリカのトップ・ジャズアーティストたちが緊急に集結し、日本支援のためのチャリティーアルバム「JAZZ FOR JAPAN」を録音。i-tunesで配信され、ジャズチャートで1位に。日本を支援したいというアーティストたちの熱い思いを届けるために今回、「JAZZ FOR JAPAN」に参加したボブ・ジェームスと松居慶子が岩手にやってくる。日本への思いを込めて、ライブを披露する。

ボブ・ジェームス



東京生まれ。5歳よりクラシックピアノを始め、高校在学中より映画音楽祭の作曲など音楽活動を行い、18歳でヤマハと契約しアーティスト活動を開始。その後独立して渡米。1987年アルバム「水滴」を全米発売以来、毎年アメリカでのコンサート活動を重ね、アメリカのFM曲のフォーマット「スムーズジャズ」の中心的存在となる。1996年発表のアルバム「ドリーム・ウォーク」は、ビルボード誌のコンテンポラリー・ジャズ・チャートで第3位にランクイン。そして、1998年発表のアルバム「フルムーン・アンド・ザ・シュライン」は、発売翌週にビルボード2位にランクインし、米国では前作と合計し70万枚以上のCDを売り上げた。2000年と2001年、「全米スムーズジャズ賞 最優秀女性アーティスト賞」を2年連続受賞の快挙。その後、発売されたアルバム「ディープ・ブルー」は、全米ビルボード誌コンテンポラリージャズ部門において日本人として初めての第1位を獲得。

2003年発表のアルバム「Wildflower」のタイトル曲「Wildflower」が国連世界食糧計画(WFP)のアフリカ飢餓撲滅運動の支援曲となり、アルバムの印税の一部は、アフリカの飢餓撲滅運動の為に寄付され、世界各地で行われたコンサートの会場でも支援を呼びかけた。2004年、日米交流の増進に顕著な功績があったとされ、日米交流150周年記念外務大臣表彰を受ける。2007年、セルフプロデュースによるアルバム「MOYO」発売と共に、アルバムにフューチャーされている南アメリカのスペシャルメンバーと、東京国際フォーラムAでおこなわれた東京JAZZに出演。2010年、「イワワールドミュージックアワード」にて、ユニバーサルミュージックアワードを受賞。2011年1月、通算23作目にあたるNEWアルバム「The Road...」を4年ぶりにリリース。全米ビルボード誌コンテンポラリージャズ部門で2位となる。

東日本大震災直後、米国のジャズマンが中心となった東日本大震災復興支援のアルバム「JAZZ FOR JAPAN」に日本人として唯一参加。その後、3月26日ワシントンDC「チェリーブロッサムフェスティバル」でのオープニングセレモニー、5月22日NYセントラルパークに於ける「JAPAN DAY」頑張れ日本」他、LA等各地のチャリティーイベントに参加。今、アメリカでは最も有名なコンテンポラリー・ジャズ・ピアニストとして知られ、アメリカのみならず、ヨーロッパ、ロシア、南アフリカ、アジアなど、世界中で愛され、日本でも熱烈なファンを持つ、世界的アーティストである。

ボブ・ジェームスの音楽人生は長く、起伏に富み、そして進化しつづけている。1963年にノートルダムジャズフェスティバルでクインシー・ジョーンズに見いだされ、最初のアルバム「Bold Conceptions」をマーキュリーレコードからリリース。1970年代にCBSに移籍し自身のレーベルTappan Zee Recordsをスタートさせ、大ヒット作品「Touchdown」をリリース。「Touchdown」には「Taxi」のテーマ曲であり、彼が作曲した「Angela」が含まれている。その後、1979年にアール・クルーとの3つの共演作の初作品である「One on One」をリリースしミリオンセラーとなり、1980年、グラミー賞を受賞した。1985年にワーナーブラザーズレコードに移籍し、もうひとつのミリオンセラーでありグラミー受賞作品である「Double Vision」をデヴィッド・サンボーンとともに録音しリリースした。

1990年、「Grand Piano Canyon」というアルバムの録音で彼は旧知のドラマーのハーヴィー・メーソンと再会し、初めてリー・リトナー(ギター)とネーサン・イースト(ベース)と共演する。このプロジェクトのためのセッションが「フォープレイ」の創世記となった。彼らの最初のアルバムは1991年に録音・リリースされ、1998年にラリー・カールトンが4枚目のアルバム「4」で新しいギタリストとして参入した。2001年にリリースされた「Dancing On the Water」はボブの長年の夢を叶えた作品であった。このCDは、ボブと松居慶子、ジョー・サンプル、デイヴ・ホーランド、チャック・ロウブとのそれぞれのデュエットが収録されている。2002年にはBMGでのフォープレイの最初のプロジェクトである「Heartfelt」をリリースした。さらに同年、ワーナーにてボブ自身のアルバム「Morning, Noon & Night」をリリース。同アルバムのタイトル曲はコンテンポラリージャズラジオでもNO. 1ヒットとなった。2006年Koch Recordsからソロプロジェクト「Urban Flamingo」をアメリカとカナダにてリリースした。また、同年4月にはカナダ・スムーズ・ジャズ・アワーズより、ジョージ・ベンソン・ライフタイム・アチーブメント賞を受賞した。

2011年3月の震災直後、米国を代表するジャズマンが録音を行った東日本大震災復興支援アルバム「JAZZ FOR JAPAN」に参加。今後の「ボブ・ジェームス」の活躍に注目!



寺井 尚子

1988年、ジャズ・バイオリニストとしてプロ・デビュー。ジャズ・ピアニスト、ケニー・バロン氏との共演をきっかけにニューヨークでのレコーディングに参加、一躍注目を集める。以降も独自性あふれる表現力ゆたかな演奏スタイルで人気の高いコンサートを中心に、テレビ、ラジオへの出演など、幅広く音楽活動を展開している。

「文化庁芸術選奨 文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)」受賞(2010年)をはじめ、「日本ゴールドディスク大賞「ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー」(2004年)、「南里文雄賞」(2008年)、「ジャズ・ディスク大賞「日本ジャズ賞」(2005年)他、受賞歴多数。また、テレビ番組でのMC(「Cinemagic Café シネマジックカフェ」2010年～BS-TBS)をはじめ、「F1日本グランプリ」決勝での「君が代」演奏(2003年)や「金鳥の渦巻」8代目キャラクターとしてテレビCMIに出演(2010年より音楽で参加)するなど、活躍の幅をさらに広げている。

年1作のペースで発表しているオリジナル・アルバム(最新作「LIMELIGHT ライムライト」2011年3月16日リリース)は、いずれもジャズのアルバムとして異例のセールスを記録。繊細な表現力と情熱的な演奏にますます磨きがかかる、日本を代表するジャズ・バイオリニストである。

いわてJAZZ 2011スペシャルバンド

Iwate Jazz 2011 Special Band

岩手県ビッグバンド連盟の協力により、東日本大震災の影響により被災した大船渡「サンドバイパス」を中心に、県内にあるビッグバンドからピックアップしたメンバーでスペシャルバンドを結成。Jazzを通じて岩手から「元気」を発信します。